



昨年は「2018第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」が開催され、これに向けて実施したトーチャランには600名を超える皆さまにご参加いただきました。

また、多数のライオンズクラブの皆さまに趣旨にご賛同いただき、会員としてご支援をいただきました。ご理解とご協力をいただいております皆さまに、改めて心より感謝とお礼を申し上げます。

現在、松江市、出雲市、大田市、雲南市で計6競技を実施しています。体力や競技力向上はもとより、人との関わりの中で社会性も高めるなどめざましい成果をあげており、引き続き活動の普及と実施地域及び競技種目の拡大に取り組んでまいります。今後ともご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



スペシャルオリンピックス日本・島根
会長 速水雄一

■スペシャルオリンピックス2018愛知ナショナルゲーム

2018年9月22日から24日まで、愛知県でスペシャルオリンピックス日本ナショナルゲームが開かれました。

島根県からは5競技に9人のアスリートが参加。全員がメダルを獲得する好成績をあげ、大会スローガンの通り「超える歓び」を味わいました。

4年に1度のナショナルゲームに向け、アスリート壮行とSO活動のアピールのため、雲南市、大田市、松江市で8月末から9月に

かけトーチャラン・パレードを実施しました。

9月2日の松江市でのトーチャランの後、島根県職員会館で藤原孝行・島根県副知事を迎えて壮行式を行いました。ホシザキチャリティークラブのご支援で新調したユニフォームに身を包んだ選手団は、激励を受けナショナルゲームでベストを尽くすことを誓いました。

団長 藤原秀晶

●大会概要・競技結果

- ①選手団人数(アスリート、役員コーチ)1,602名(島根県:18名)
アスリート 996名(島根県:9名)パートナー 4名
コーチ・役員 602名(島根県:9名)
- ②参加地区 47地区組織(47都道府県)
- ③大会関係者 419名(大会役員、実行委員会、競技役員等)
- ④ボランティア 3,801名
- ⑤観覧者数 3日間延べ 約13,800名 ※概算
開会式 2018年9月22日 約4,500名
競技会場 2018年9月23日～24日 ※全競技会場合計 約7,000名
閉会式 2018年9月24日 約2,300名
- ⑥大会参加者総数 約20,495名
- ⑦付帯イベント参加者総数 861名

| 氏名 | 競技 | 種目・結果 |
|------|----------|----------------------------|
| 松田 智 | 競泳 | 25m自由型 1位 ※Div.8(男子) |
| 黒田瞳子 | 競泳 | 50m自由型 2位 ※Div.1(女子) |
| 飯塚京美 | 陸上競技 | 100m 2位 ※Div.3(16歳～21歳女子) |
| 中村伸明 | 陸上競技 | 100m 1位 ※Div.1(12歳～15歳男子) |
| 参成隼児 | バスケットボール | 個人技能競技 3位 ※Div.1(男子) |
| 和田千輝 | バスケットボール | 個人技能競技 2位 ※Div.1(男子) |
| 木村将悟 | ボウリング | シングルス 1位 ※Div.3(12歳～21歳男子) |
| 永長大地 | ボウリング | シングルス 1位 ※Div.2(12歳～21歳男子) |
| 川本健太 | 卓球 | シングルス 1位 ※Div.8(15歳～22歳男子) |

ナショナルゲーム愛知 開会式

《日本ガイシホール》



●開会式

～トリプルアクセルの愛知～

開会式で開催地の特徴が出るアトラクションについて書きます。

前回の福岡ではMISIAが歌い感動した。愛知はどうか？

チームしゃちほこが楽しませてくれた。しかし…とっていると、サンブラザ中野くんが登場、しっかり盛り上げてくれた。やるな愛知、しかし何と続いてGLAYのTERUが飛び出してきた。エッ応援ソングを歌う。沢山のアスリートがステージに集まり、踊りまくるというおまけもつけて。

三段構えで楽しませてくれた愛知！さすがトリプルの御当地でした。

副団長 和久利清治

競泳

《愛知学院大学 AGUスポーツセンター》



■松田 智

僕は、スペシャルオリンピックス2018愛知で競泳に初めて出場し、タイムは16秒80で、自己ベストがだせた事、金メダルがとれた事が一番うれしかったです。

全員がメダルをもって帰ることができて、良かったと思います。応援をしてくれた皆さん、有り難うございました。



■黒田瞳子

全国大会は忘れられない思い出になりました。私はこれからも水泳を続けてたくさん練習していつか世界大会に出られるように頑張ります。いろんな方に感謝の気持ちでいっぱいです。

皆さん本当にありがとうございました。

●ナショナルゲームを終えて

大会でアスリートが最高のパフォーマンスが出来るよう準備をしました。現実には様々なことが起きます。それをアスリート達は自身で悩み、行動することで超えて行きます。私自身その姿を見て多くのことを教わりました。

この機会を多くのアスリートとコーチに体験してもらいたい。

何かを超えて発見出来るから。

競泳コーチ 青山砂織



陸上

《パロマ瑞穂スタジアム》



■中村伸明
愛知県で行われた、ナショナルゲームの陸上100Mに参加しました。
少し緊張しましたが、コーチに教えてもらった事を思い出しながら全力で走って、1位になりました。
これからも、もっと速く走れるように頑張ります。



■飯塚京美
とても素敵な競技場で、100mを最後まで走りきることができました。
自己新記録が出せたこともとても良い思い出になりました。
コーチの方々や仲間の皆さんと楽しく過ごさせてもらいました。

●自分を信じて、自己新記録！

4年に一度の全国大会。緊張感、不安感のある中、二人のアスリートは見事に自己ベストを更新してメダルを獲得してくれました。
指導、引率する立場としては、反省することや勉強になったことなどたくさんありましたので、今後のSO活動に活かしていきたいと思います。
陸上競技コーチ 藤原 博



バスケットボール

《スカイホール豊田》



■参成隼児
僕はバスケットの個人競技の3つの種目でパスをしたり、シュートをしたりしました。
速水コーチが頑張って下さい。と言いました。その後よく狙ってシュートをしました。
そして表彰式で108点で銅メダルを取りました。
諦めずに頑張りました。

■和田千輝

僕はNG愛知大会のバスケットボール個人競技で銀メダルをとりました。
嬉しかったです！
4年後の大会で金メダルをとる為に、日々努力していきたいです。
応援ありがとうございました。



●9/22～9/23スカイホール豊田でバスケットボール個人技能競技に参成隼児、和田千輝の2名と出場した。
2日目の決勝は、Div.1で2人と奈良・宮崎のアスリート4名で総合得点を競い、銀・銅のメダル2個を獲得。宿舎では神奈川チームと同室で選手のモチベーションの高さに感心。
参加することで得られた素晴らしい経験を仲間に伝えてほしい。
次の目標はチームで全国大会出場！

バスケットボールコーチ 速水久樹



ボウリング

《名古屋グランドボウル》



■永長大地

会場が広くてびっくりしました。戦った仲間5名と友だちになりました。会場に来られた有森さんと握手してうれしかったです。コーチのおかげで金メダルを取ることができました。とても良い思い出ができました。これからもSOの仲間とボウリングを盛り上げていきたいです。

■木村将悟

出場が決定し、とても嬉しかった。幼少期からボウリングが大好きでSOでも頑張ってきた。愛知大会で目標に到達できなかったが、金メダルを獲得して満足した。今後も目標に向かって練習に励もうと思う。応援ありがとうございました！

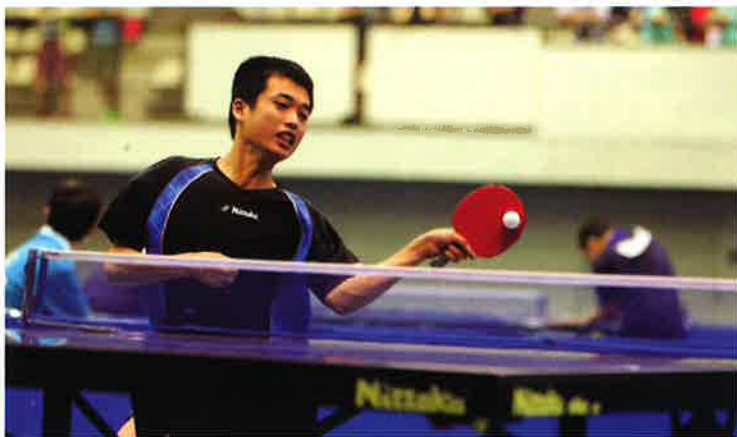
●2018年9月23日、24日に名古屋グランドボウルを会場にSON夏季ナショナルゲーム愛知大会のボウリング競技会が開催されました。SON・島根から出場した二人は総勢170人を超すアスリートの中でボランティア、ファミリーの方々の一際大きい声援を背に頑張りました。表彰式では二人揃っての金メダルにとても嬉しそうな笑顔でした。

ボウリングコーチ 森廣忠光



卓球

トヨタスポーツセンター



■川本健太

僕は卓球で出場しました。開会式のあったガイシホールはめったに行けない所なのでワクワクしました。試合は全勝して金メダルをもらいました。青木コーチと担当してくれた野津さんが喜んでくれてうれしかったです。



●今度の大会では、感動と感激の連続でした。出発時から、二十年ぶりの遠征で胸躍る想いでいました。まず、最初の開会式の演出で度肝を抜かれました。その場で全国のアスリートが一体となっていました。卓球が始まりましたが、予選・決勝リーグ戦で、川本健太選手は普段通りの力を十分に発揮し優勝しました。林芳正文部科学大臣から金メダルを授けられた時は、胸が熱くなりました。また、ボランティアとしてDALの島根担当の方が、たまたま雲南市出身の野津さんで、彼も涙していました。第7回スペシャルオリンピック日本夏季ナショナルゲーム・愛知は、充実感と満足感、そして達成感に満たされた遠征でした。ご支援くださった皆さま、関係者の皆さまに心から感謝いたします。

卓球コーチ 青木 誠



雲南トーチラン

いい汗！いい顔！いい仲間！

島根県選手団の激励とSOの普及、啓発を目的としたトーチラン。島根では初めての開催で不安一杯でスタートしましたが、皆様のご理解とご協力で盛大に開催できたことに、心より感謝しております。

雲南・大田・松江と繋がったトーチのパワーが愛知全国大会において、参加したアスリート全員がメダリストになるという、快挙に繋がりました。このパワーが4年後へ、そしてSOの輪がさらに広がるように頑張りたいと思います。

藤原 博



大田トーチパレード

大田地区では、8月26日、150名の参加者でトーチパレードが行われました。

他地区とは違い、お互いの顔を見ながら、声を掛け合いながら歩きます。その中で、アスリート全員が、聖火トーチを持つ貴重な体験ができたこと、またボランティアの方々が、その光景を笑顔で見守りながら歩いてくれました。大田地区ではまだ認知度が低いSOですが、このパレードを通じて、一人でも多くの人が応援してくれることを期待しています。

宇谷留美



松江トーチラン

9月2日、記録的な残暑が続く中、トーチラン松江を開催しました。

準備段階では困難続きで、断念しなければならないのか…と思った時もありました。

しかし、参加要請をするうちに「いい企画ですね。是非参加させて下さい」と快諾して下さるボランティアの方々に支えられ、大成功の幕となりました。ありがとうございました。

今後、この支援の輪を次のステップに繋げることが私たちの課題と考えています。

参成佐智子



溝口善兵衛島根県知事表敬

9月28日、「ナショナルゲーム・愛知」に出場した選手団が島根県庁を訪問しました。

アスリートからひとりずつ、大会の結果やがんばったこと、感想などを自分の言葉で報告し、メダルを披露しました。

溝口県知事からはお祝いと期待、そしてスペシャルオリンピックス日本・島根には応援の言葉をいただきました。

こんなに緊張したアスリートの姿はめったに見られません。

柿木 修



ナショナルゲーム愛知

報告会&交流



12月2日(土)、雲南市三刀屋農村環境改善メインセンターで、「ナショナルゲーム・愛知 報告会&交流会」をしました。揃いのユニフォームで登場した選手団。壇上で報告するアスリート。応援してくれた皆さんに、自分の言葉で感謝の気持ちを伝える姿に成長を感じました。

「次は自分も出たい！」と思ったアスリートも多かったのではないのでしょうか。

柿木みどり



トピックス

大田プログラム ～サッカースタート～

2018年2月からスタートした大田サッカープログラムは、13人のアスリートと共に活動をしています。「楽しみながら個々の成長を伸ばす」という目標を、ボランティアが一同となり一緒に活動しています。まだ始まったばかりで試行錯誤しながら、参加しているみんなの笑顔を見てもっと前へ進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。



2017年9月 EKSデー ～ポッチャ～

9月23日(土)、出雲市のアクティビカで、EKSデー ポッチャ大会をしました。当日はアスリートなど68名が参加しました。ポッチャでは、アスリートとボランティアがチームとなつてのチーム戦で、ボールを投げるたびに大きな歓声があがっていました。また、当日は駐車場の誘導や出迎え、お礼の挨拶など、アスリートが運営にも積極的に参加しました。参加いただいた松江葵ライオンズ、三刀屋ライオンズ、ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

2017年11月 合宿プログラム

アスリートの自立とボランティア・コーチのアスリート理解を深めるため、11月25日から2日間、青少年の家サンレイクで合宿をしました。23名のアスリートが一畑電鉄の各駅から電車で現地に集合し、男女5つのグループに分かれてプログラムがスタート。レクリエーションや夕食づくりを楽しみ、お風呂上がりにはアスリートが歌や得技を披露しました。2日目は土谷コーチの敏捷・体幹トレーニングと奉仕活動。あつという間に楽しい合宿が終わりました。お世話になったレクリエーション協会、サンレイク職員、そしてボランティアのみなさま、ありがとうございました。

2018年2月 アスリートの集い

2月17日、三刀屋文化体育館アスパルで「アスリートの集い」をしました。今年から活動がスタートする大田をあわせて4地区のアスリート19人が、各地区で実施しているプログラムを体験しました。体験した競技はバスケット、陸上、卓球、サッカーの4競技。参加したアスリートからは「いろんなことを楽しかった」と、いつもと違った競技を楽しんだようです。その後はSON・島根の定時総会。2018年度の活動計画等をたくさんの方の参加者で決定しました。日頃、顔をあわせないアスリート同士、ボランティア、コーチ、ファミリーも交流を深めた楽しい1日となりました。



2018年1月～3月 赤い羽根共同募金テーマ募金活動

社会福祉法人島根県共同募金会の認証団体として、赤い羽根テーマ募金の活動を行いました。あたたかいご支援は、日常のスポーツプログラムや大会への参加、交流促進等に活用させていただいています。アスリートの頑張る勇気を応援いただき、心からお礼申し上げます。

●卓球記録会&サンキューパーティー

2016年9月から始まった卓球プログラムは、現在7名(2018年3月)のアスリートが登録しています。愛知で行われたナショナルゲームの選考や、今までの練習の成果発表として、2018年3月11日出雲市斐川町の出雲コミュニティーセンターで第1回記録会を行いました。また、記録会終了後に日頃お世話になっているコーチ、ボランティアの方々に、プログラムが始まってからずっと支援していただいている事に感謝の気持ちを込めて、サンキューパーティーを開きました。

当日、9時からコーチ、ファミリーが集まって、コーチ陣は記録会の準備、ファミリーはサンキューパーティーの準備を行いました。10時から準備運動、そして記録会が始まりました。コーチ、ボランティアの協力で行われ、7名のアスリートが参加しました。みんな、集中して真剣そのもの、日頃の練習の成果を披露しました。

記録会の裏で、アスリートの母らが、協力してカレーライスを作りました。初めての共同作業とは思えない息のあった作業と弾む会話の中で、感謝の気持ちを込めたカレーライスが出来上がりました。参加者は運営委員、コーチ、ボランティア、アスリート、ファミリーの合計20名でした。出雲のファミリーが協力して行うイベントは、今回が初めてで、とても和やかな雰囲気でした。ささやかではありますが、ファミリーの作ったカレーライスを食べたり、アスリートの感謝のメッセージメダルを渡したりできてよかったです。また、コーチの方から、がんばり賞として置時計などをいただいたり、高校を卒業するアスリートから就職報告もありました。コーチとアスリートやファミリー、アスリート同志、ファミリー同志の交流、親睦を深めることができました。

●タケノコ掘りレクリエーション

2018年4月21日に、出雲市斐川町出西にある卓球の青木コーチ私有地竹林でタケノコ掘りレクリエーションを行いました。アスリート、コーチ、ボランティア、ファミリー合わせて14名が参加しました。当日は晴天に恵まれ、卓球プログラムを30分短縮して、青木コーチの指導のもと、昨年に引き続きタケノコ掘りに奮闘しました。

地面とにらめっこし、ちょこんと頭を出しているタケノコを見つけるだけで、歓声が上がっていました。その後、大釜でタケノコを茹で(あく抜き)傍らで、お昼のお弁当を食べたり、近くに生えていた、わらび、三つ葉、セリ、水落などの山菜を収穫したりして、和やかな楽しいひとときを、みんなで過ごすことができました。

●ご寄付・ご寄贈 ありがとうございました

ホシザキチャリティークラブ様から30万円のご寄付
社員で構成されている社会貢献の会「ホシザキチャリティークラブ」は、自然環境保護や社会福祉、災害復興支援などの分野で活動する団体を支援されています。2018年度の支援先の一つにスペシャルオリンピックス日本・島根が選ばれ30万円をご寄付いただきました。ナショナルゲームに参加する選手団ユニフォーム等に活用させていただきました。



生命保険協会島根協会様からデジタルカメラ2台の寄贈
地域貢献活動の一環として、平成20年度から毎年障がい者を支援する団体への備品寄贈を行われており、これまでに10団体に寄贈されています。2018年度はスペシャルオリンピックス日本・島根にデジタルカメラ2台をご寄贈いただきました。活動記録や情報発信に活用させていただきます。

●支援仕様自動販売機設置

2018年8月10日、株式会社みしまや様並びにコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社ペンディング山陰支店様のご協力により、「スペシャルオリンピックス日本・島根」支援仕様の自動販売機を、雲南市三刀屋町の『みしまや三刀屋店』に設置いただきました。お買い上げいただいた代金の一部を「スペシャルオリンピックス日本・島根」にご寄付いただく仕組みで島根県では第1号です。皆様のご利用をお願い申し上げます。



SON島根の活動は企業・団体・個人の皆さまのご支援によって支えられています。

ご協力ありがとうございました。

【順不同・敬称略・2018年末現在】

2018年度 正会員

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 合原儀行 | 青木 誠 | 青山砂織 | 青山友行 | 朝倉光彦 | 浅津博行 | 石田清士 | 石原千鶴 | 板持さとみ | 糸賀真由美 |
| 糸川恵美子 | 今岡克己 | 堀屋 均 | 岩田浩岳 | 岩成フミエ | 上田 豊 | 上本直之 | 宇谷留美 | 梅枝信行 | 江角 隆 |
| 遠藤敬一郎 | 大谷 順 | 大野康彦 | 小川真理 | 落合伸一 | 尾原陽二 | 恩田良一 | 香川歌子 | 柿木 修 | 柿木節子 |
| 柿木 昇 | 景山 明 | 景山俊太郎 | 陰山義広 | 影山喜文 | 加後 隆 | 門脇純子 | 金津一史 | 金子俊之 | 金築 強 |
| 栢野和美 | 河上佳与子 | 川島 健 | 北村仁志 | 木村 順 | 木村律子 | 久我卓央 | 倉本智伯 | 果瀬一男 | 黒田弘之 |
| 河野 潤 | 小林淳一 | 胡摩田弘孝 | 小山 伸 | 近藤五朗 | 酒井しのぶ | 酒井博章 | 境 英俊 | 坂田 学 | 阪本修寛 |
| 佐藤隆司 | 渋谷 治 | 堀 伸 | 上代弘実 | 新川ひろみ | 矢道安男 | 矢道 浩 | 杉谷孝雄 | 周藤克年 | 角 智子 |
| 須山辰夫 | 陶山敏行 | 須山展至 | 瀬戸 朗 | 全野孝治 | 園山 繁 | 高田真一 | 高田雅生 | 高橋 潔 | 高橋 保 |
| 高橋雅彦 | 竹下三郎 | 田原広司 | 為石 茂 | 田本昌利 | 田原いづみ | 土江博昭 | 都間正隆 | 鳥目 勇 | 仲佐 稔 |
| 中筋豊通 | 中筋廣昭 | 永長好和 | 永沼寿夫 | 奈義良照正 | 中村節夫 | 中村辰真 | 中村真由美 | 名越真理子 | 新倉恵子 |
| 西村雄一郎 | 野津真澄 | 野々内 誠 | 野々村健造 | 橋田貴之 | 長谷川清寿 | 波多野 圭 | 速水久樹 | 速水雄一 | 原 祐二 |
| 原田正俊 | 原田裕司 | 日野要次 | 平井澄子 | 福島瑞枝 | 福田賢司 | 福岡和幸 | 福岡友之 | 藤原資之 | 藤原 博 |
| 藤原ひろみ | 藤原秀晶 | 藤本節男 | 船木三紀夫 | 古瀬俱之 | 古瀬 誠 | 星野 淳 | 正木直美 | 増原久子 | 松浦廣行 |
| 松島栄子 | 松田佳恵 | 松田天史 | 松谷和夫 | 松本圭介 | 万場靖敏 | 三浦加寿子 | 三上 恵 | 三島 治 | 参成佐智子 |
| 村田亜紀子 | 毛利智史 | 森田博久 | 森脇真樹 | 安田賢一郎 | 山内茂樹 | 山内秀洋 | 山崎正幸 | 山崎もとみ | 山口知慶 |
| 山中一平 | 山本宏二 | 横尾哲也 | 吉岡延江 | 若槻和宏 | 和久利清治 | 渡辺真司 | 渡部晴夫 | 渡部仁美 | 渡部博史 |
| 渡部祐治 | | | | | | | | | |

2018年度 賛助会員 (企業・団体)

| | | | | |
|-------------------|------------------|-----------------|---------------|----------------|
| アースサポート株式会社 | 赤来ライオンズクラブ | 荒木燃料株式会社 | 株式会社育英商会 | 一畑電鉄株式会社 |
| 有限会社糸賀製作所 | 有限会社イワナリ厨機 | 株式会社植田建設 | 雲南建設株式会社 | 雲南道路サービス株式会社 |
| 大田ライオンズクラブ | 掛合ライオンズクラブ | NPO法人かしま鹿島総合体育館 | カナツ技建工業株式会社 | 加茂島根ライオンズクラブ |
| 木次ライオンズクラブ | 協栄金属工業株式会社 | 幸陽建設株式会社 | 社会福祉法人山陰家庭学院 | 株式会社山陰合同銀行 |
| 山陰総合リース株式会社 | 山陰中央テレビジョン放送株式会社 | サンセイ電機株式会社 | 株式会社さんわファクトリー | 一般社団法人島根県経営者協会 |
| 島根県農業協同組合 | 島根トヨタ自動車株式会社 | 社会福祉法人仁寿会 | シンセイ技研株式会社 | 大東ライオンズクラブ |
| 有限会社高浜印刷 | 武永印刷株式会社 | 田中工業株式会社 | 中国電力株式会社島根支社 | 株式会社常松土建 |
| ティーエスケイ情報システム株式会社 | 有限会社トップ管工 | トヨタカラー島根株式会社 | 頼原ライオンズクラブ | 株式会社中澤建設 |
| 株式会社中筋組 | 株式会社ネスター | ネットヨタ島根株式会社 | 株式会社バイタルリード | 株式会社博愛社 |
| 有限会社深石石材店 | 藤原孝石材店 | 株式会社藤原鐵工所 | 株式会社ホンダカーズ松江 | 有限会社酒の横戸天狗堂 |
| 松江葵ライオンズクラブ | 松江キャッスル葵支部 | 松江土建株式会社 | 松江ライオンズクラブ | まるな建設株式会社 |
| 三刀屋ライオンズクラブ | 社会福祉法人四ツ葉福祉会 | | | |

2018年度 賛助会員 (個人)

| | | | | | | | | | |
|------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|------|
| 阿合孝徳 | 吾郷 均 | 浅田和弘 | 足立昭二 | 飯塚真理 | 飯塚 守 | 大屋俊弘 | 岡田尚子 | 生越俊一 | 尾原智彦 |
| 恩田仁志 | 梶谷朱美 | 加藤智子 | 木村康子 | 久我紀子 | 駿馬重弘 | 小林慶一郎 | 酒井恭子 | 坂本敏雄 | 須谷直美 |
| 陶山憲三 | 高橋慎治 | 高橋真由美 | 高見聡太 | 竹内影子 | 竹谷 強 | 田中久則 | 田中千佳子 | 田中久隆 | 田中隆一 |
| 出川清一 | 内藤大輔 | 長島 篤 | 長島美香 | 長妻美樹 | 白石恵子 | 日野修一 | 日野由紀子 | 福田圭祐 | 藤原史将 |
| 藤原 亮 | 古川一雄 | 保科 勉 | 星野和宏 | 星野美津子 | 細田 実 | 細田若代 | 堀江知子 | 前田伸子 | 松浦健吉 |
| 松浦 豊 | 松林弘美 | 馬庭志津子 | 馬庭博範 | 馬庭充伯 | 宮迫純子 | 持田裕子 | 森 憲子 | 山根成二 | 吉岡俊朗 |
| 吉岡亮太 | 吉田聖愛 | 吉田政雄 | 吉野彩音 | | | | | | |

2018年度 ご寄付 ありがとうございました。

| | | | | |
|------------------------|----------|------------|--------------|-------------------|
| 木村昭憲 | 古瀬俱之 | 吉岡亮太 | 国際ソロプチミスト出雲 | 一般社団法人生命保険協会島根県協会 |
| サカモトネイションファウンデーション株式会社 | | 日本コルマー株式会社 | ホシザキチャリティクラブ | 株式会社さんわファクトリー |
| 支援型自動販売機設置 | 株式会社みしまや | | | |

《お断り》ニュースレターに掲載を希望されない企業・団体・個人のお名前は割愛させていただきました。

編集後記

愛知県を会場に開催された4年に一度のナショナルゲーム。「超える歓び。」のテーマの通り、参加した島根のアスリートたちは素晴らしい結果を残し、日ごろの練習の成果を十分に発揮してくれました。各競技を取材しましたが、どの会場も熱気に包まれ沢山の感動を実感した大会でした。終わりにニュースレター発行に対し原稿及び写真提供にご協力いただきました皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

発行/スペシャルオリンピックス日本・島根 広報委員会 発行日/2019年1月31日

〒699-1105 島根県雲南市加茂町宇治303 雲南市加茂文化ホール ラメール内 TEL0854-49-8500 FAX0854-49-6200